



SDGs達成に向けた取組み

環境配慮型パーキング 自走式駐車場の機能とサービス



※画像はイメージです。

地球にやさしい駐車場を

世界中で取り組まれている「SDGs(持続可能な開発目標)」。

それは私たちの経営理念「技術をもって社会の発展に貢献する」にぴったり合っていました。

パーキング事業の自走式駐車場では「再生可能エネルギーを電力に使用する」といったエネルギー面の取組みや「災害時の津波避難・ドローンによる物資供給拠点」等の災害への備えを通じて、SDGsの達成に貢献します。

電力コストの最小化、充電機会の最大化

輪番充電システム

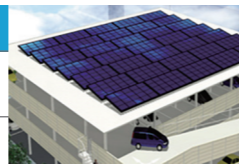
- ✓ 電源容量を変えずに充電ポートの増設が可能
- ✓ 利用者の充電機会が増加
- ✓ EV利用を促進、CO₂排出削減に貢献



再生可能エネルギーの利用

太陽光発電システム

- ✓ 併設施設と系統連携し効率的に電力を使用 契約電力量、電力量料金を最適化し、電力コストを削減
- ✓ 災害発生時のエネルギーステーションとして活用
- ✓ 再生可能エネルギー利用で環境に配慮



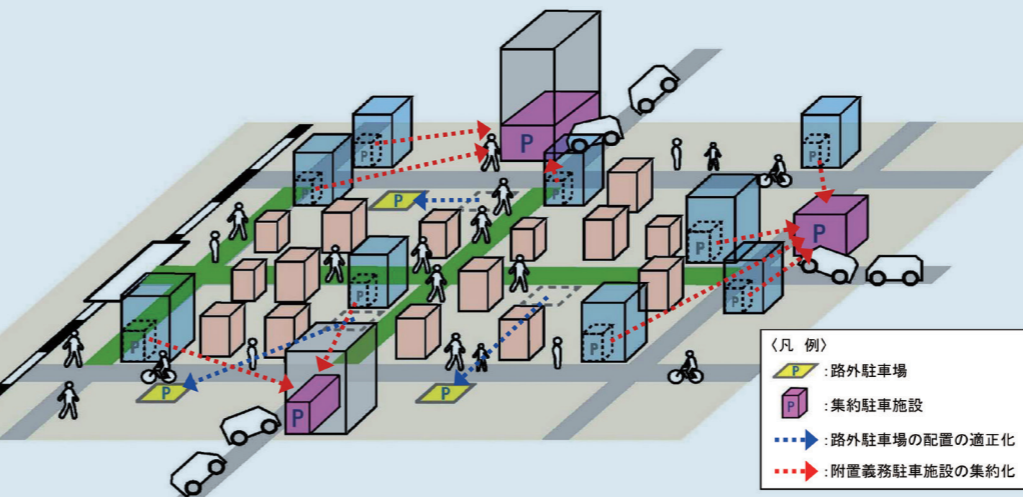
将来のモビリティに対応した自動バレーパーキング

入庫時に車を降りたら、駐車は車とパーキングにお任せ。

出庫時は、予約した時間に指定場所へ行けばそこに車が待っていてくれる—こうした未来を見据え、IP2は国内で初めて自走式駐車場・機械式駐車場の閉鎖空間における自動運転・自動駐車技術を確立。

駐車場内に利用者が立ち入らない自動バレーパーキング(※1)を実現させました(※2)

- ✓ 駐車場内の事故ゼロを目指す
- ✓ 車室スペースの有効活用
- ✓ 駐車場内の移動時間・手間削減
- ✓ 省人化
- ✓ フリンジパーキングへの展開



〈凡例〉

- : 路外駐車場
- : 集約駐車施設
- : 路外駐車場の配置の適正化
- : 附置義務駐車施設の集約化

※1 車両の駐車や出庫を代行するサービスのこと ※2 2019年12月25日プレスリリース

災害への備え

気候変動に起因する自然災害に対して、駐車場を活用した防災・減災の促進に取り組みます。

地域防災拠点としての駐車場

災害に強い自走式駐車場

- ✓ 災害時の津波避難スペース、物流供給拠点として 従業員や周辺住民の安全確保に寄与
- ✓ 地域貢献のシンボルとしての活用



将来のモビリティに対応したインフラ

ドローン物流システム

- ✓ 災害時、孤立した地域への物資供給拠点として
- ✓ ドローンから自動運転モビリティへの 荷物の無人受け渡しを実現

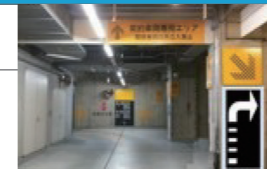


人と環境にやさしい駐車場

自走式×IoTによるCO₂削減

サイネージによる場内誘導

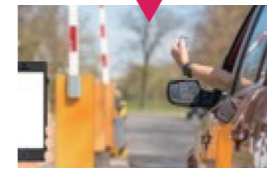
- ✓ うろつき運転減少、事故減少
- ✓ 場内渋滞緩和



Withコロナ

非接触・非対面・キャッシュレスの実現

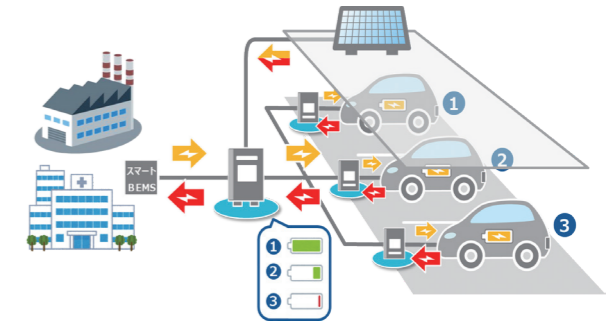
- ✓ 触れる事への不安払拭
- ✓ 感染リスクの低減
- ✓ 駐車券トラブル解消
- ✓ 高額紙幣、新紙幣にとられない精算
- ✓ 駐車券コスト不要、ランニングコスト削減



駐車場の新たな利活用

EVによる緊急時の電力供給(V2X)

- ✓ エネルギーステーションとしてEVからの 電力供給に切り替え場内照明や 携帯充電などの電源として活用
- ✓ EVを各地域へ向かわせ、電源車として利用



ゲートレス

- ✓ 管制機器への接触事故減少
- ✓ 出入口渋滞緩和



駐車場設備の省エネルギー化

駐車場初となる建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)最高評価(★5)を取得しました。BELSは、国土交通省から示されたガイドラインに基づき、第三者機関により評価が行われます。



フリンジパーキング(集約駐車場)から

市内中心部までは公共交通機関や

シェアサイクルを利用

